

「奈良県立医科大学白菊会」の会員ならびにご家族様へ  
臨床解剖研究へのご協力をお願い

当大学では、以下の臨床解剖研究を実施しています。以下の試料・情報を研究に用いられたくないとお考えの会員さんまたはご家族の方は、遠慮なくお申し出ください。お申し出いただいた会員さんの試料・情報は使用いたしません。また、研究への参加にご協力いただけない場合でも、会員さんまたはご家族の方に不利益が生じることは一切ありません。

食道の横紋筋・平滑筋と迷走神経本幹・反回神経からの食道枝との関係に関する研究

1. 研究対象者

本研究で用いる解剖体は生前に「奈良県立医科大学白菊会」に入会された方のご遺体です。

2. 研究責任者

研究代表者

奈良県立医科大学 第一解剖学 学内講師 東 超

研究分担者

奈良県立医科大学 第一解剖学 教授 井上 浩一

3. 研究の目的と意義

本研究の目的は食道の筋層の左右、内外あるいは上下の横紋筋・平滑筋の境界と迷走神経本幹と反回神経からの食道枝との関係を明らかにすることです。これによって、食道手術における食道筋と迷走神経本幹と反回神経からの食道枝との関わりの基礎データを提供することにより、食道枝の神経温存と切除筋層範囲の設計と術後の機能の評価が可能となり、食道手術のクオリティ向上に役立ちます。

4. 研究の方法

奈良県立医科大学系統解剖実習や臨床解剖実習で毎年使用する81体の解剖体から頸部・胸部・食道胃接合部の食道と迷走神経を解剖します。左右反回神経から食道に分布する食道枝の分布範囲と反回神経より下の左右迷走神経本幹から食道に分布する食道枝の分布範囲を確認し、食道枝を番号付きマーキングでスケッチします。さらに、左右の食道枝の壁外あるいは壁内の吻合枝の分布状況を確認します。そして食道枝の上下・左右の差を調べます。

各迷走神経本幹と反回神経からの番号付き食道枝が分布する食道の部分切除し、食

道の筋層の内側輪走筋、外側縦走筋を観察するために、以下の手順を踏む。①固定：食道を4%パラホルムアルデヒド固定液で浸漬して組織を固定します。②パラフィン包埋：パラフィンからなる組織ブロックを作製する際は、固定後の組織を水洗し固定液を除いたのち、アルコールで脱水、次にキシレンなどでアルコールを除く、最終的にパラフィンに置換します。③薄切：包埋した食道を包埋剤とともに薄く切り、切片とします。④染色：ヘマトキシリン・エオジン（HE）染色を行い、顕微鏡で骨格筋あるいは平滑筋の筋細胞の太さ、長さ、横紋を確認します。次に、食道の筋層の内側輪走筋、外側縦走筋の上下、左右の骨格筋と平滑筋の境界を同定と比較検討します。

各迷走神経本幹と反回神経からの番号付き食道枝が分布する食道の筋層が骨格筋であるか平滑筋であるかをリストし、食道の筋層の左右、内外あるいは上下の骨格筋と平滑筋の境界と迷走神経の運動神経性あるいは自律神経性の食道枝との関係を明らかにします。

## 5. 使用する試料・情報

試料：迷走神経、食道筋

会員情報：年齢・性別

## 6. 試料・情報の管理責任者

奈良県立医科大学 学長

東京都立大学 人間健康科学研究科長

## 7. 研究の実施体制

この研究は、他の機関と共同して実施します。実施体制は以下のとおりです。

### 研究代表者

奈良県立医科大学 第一解剖学 学内講師 東 超

### 研究分担者

奈良県立医科大学 第一解剖学 教授 井上 浩一

### 共同研究機関と研究責任者

東京都立大学 人間健康科学研究科 教授 易 勤

## 8. 外部機関への情報等の提供

機関名：東京都立大学

研究責任者：人間健康科学研究科 教授 易 勤

提供方法：直接手渡し

この研究で使用する試料・情報を上記の共同研究機関で共有して研究を行います。共有する際は、会員さんのお名前等は削除し、個人を直接特定できないようにします。

## 9. 研究期間

研究機関長の実施許可日～2028年3月31日

## 10. 個人情報の取り扱い

対象となる会員さんの個人情報は厳重に管理し、利用する情報等からはお名前や住所等、個人を特定できる情報は削除し、研究番号に置き換えて使用します。また、研究成果を学会や学術誌等で公表する際も個人を特定する情報は公表しません。

## 11. お問い合わせ先

奈良県立医科大学 第一解剖学 学内講師 東 超

奈良県橿原市四条町 840 番地

TEL : 0744-22-3051 (代表)

E-mail : aaa@naramed-u.ac.jp

東京都立大学 人間健康科学研究科 教授 易 勤

東京都荒川区東尾久 7-2-10

Tel 03-3819-1211 (代表)

E-mail : yittmniu@tmu.ac.jp